

平成 3 0 年度事業報告 決算報告

運営に関する事項

○理事（16名）・監事（2名）

代表理事	羽賀 友信	長岡市国際交流センター
副代表理事	西脇 美智子	朝日酒造(株)
副代表理事	河村 正美	公立大学法人長岡造形大学
副代表理事	渡辺 美子	米百俵まつり実行委員会
理事	稲垣 文彦	(公社) 中越防災安全推進機構 業務執行理事
理事	阿部 巧	(公社) 中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンター
理事	樺沢 敦	株式会社FARM8
理事	神林 克彦	NPO 法人思いのほか
理事	桑原 眞二	NPO 法人ながおか生活情報交流ねっと
理事	佐竹 直子	NPO 法人多世代交流館になニーナ
理事	高木 仁	NPO 法人住民安全ネットワークジャパン
理事	本間 和也	(社福) 長岡市社会福祉協議会
理事	水澤 元博	水澤電機(株)
理事	渡辺 仁	NPO 法人キズナの森
理事	山岸 豊後	アクシアルリテイリング(株)・NPO法人夢ハウスけやきの家
理事	清野 静香	暮らしと手とテの研究所
監事	土田 勝也	NPO 法人ネットワーク・フェニックス
監事	高野 真規	たかの社会保険労務士事務所

○会員

種別	正会員	賛助会員
個人	37人	75人(84口)
団体	5団体	12団体
合計	42	87

平成 30 年度 会議に関する事項

○総会の開催

■通常総会

日時：平成 30 年 5 月 29 日（火） 19：00～21：00

会場：シティホールプラザ アオーレ長岡西棟 3 階 第 1 協働ルーム

議題：第 1 号議案 平成 29 年度事業報告・活動決算

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画・活動予算

○理事会の開催

■第 1 回理事会

日時：平成 30 年 5 月 10 日（木）19：00～

会場：アオーレ長岡 西棟 3 階 第 2, 3 協働ルーム

議題：○審議事項

（1）平成 30 年度通常総会の議事内容について

・平成 29 年度事業報告・活動決算

・平成 30 年度事業計画・活動予算

○意見交換

（1）総会後の意見交換について

■第 2 回理事会

日時：平成 30 年 7 月 6 日（金）19：00～

場所：アオーレ長岡 西棟 3 階 第 1 協働ルーム

議題：○報告事項

（1）4 月～6 月期 事業報告

・市民協働センター運営事業

・自主事業

（2）4 月～6 月期 会計報告

・会員報告

○協議事項

（1）ファンドレイジング事業

・夢の種プロジェクトについて

・寄付・遺贈について

○その他

（1）総会後の茶話会について

■第 3 回理事会

日時：平成 30 年 10 月 10 日（水）19：00～

場所：アオーレ長岡 西棟 3 階 第 1 協働ルーム

議題：○報告事項

- (1) 7月～9月期 事業報告
 - ・市民協働センター運営事業
 - ・自主事業
- (2) 7月～9月期 会計報告
 - ・会員報告

○協議事項

- (1) 平成31年度 市民協働センター委託事業検討について
- (2) 夢の種プロジェクト審査方法について

■第4回理事会

日時：平成31年1月10日(木) 19:00～

場所：理事会 アオーレ長岡 西棟3階 第1協働ルーム

議題：○報告事項

- (1) 10月～12月期 事業報告
 - ・市民協働センター運営事業、自主事業
 - ・管理指標
- (2) 10月～12月期 会計報告
10月～12月期 会員報告
- (3) 平成31年度の市民協働センター運営について

○協議事項

- (1) 次年度の計画について
 - ・各部会に分かれて自主事業の計画を話し合い

■第5回理事会

日時：平成31年3月20日(水) 19:00～

場所：アオーレ長岡 第1協働ルーム

議題：○報告事項

- (1) 1月～3月期 事業報告
 - ・市民協働センター運営事業、自主事業
 - ・管理指標
- (2) 1月～3月期 会計報告
1月～3月期 会計報告
 - ・平成30年度決算見込みについて

○協議事項

- (1) 平成31年度事業計画
- (2) 平成31年度予算計画
- (3) 役員について

1. 市民協働センター運営事業（委託事業）

（1）活動支援・事務局支援業務

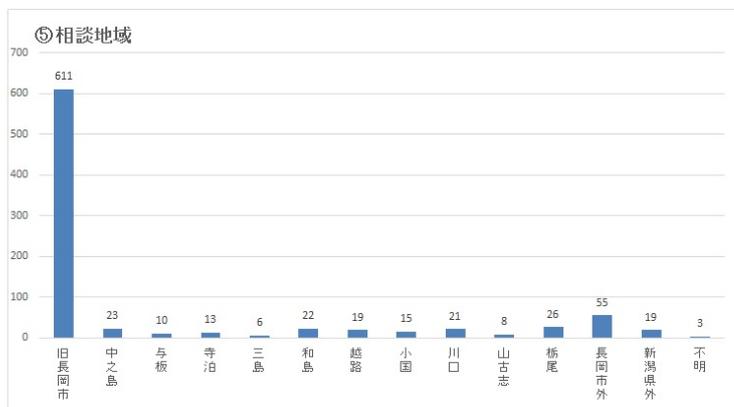
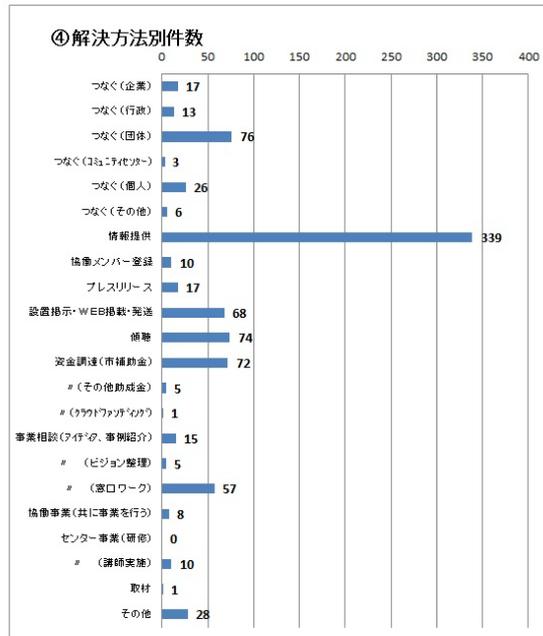
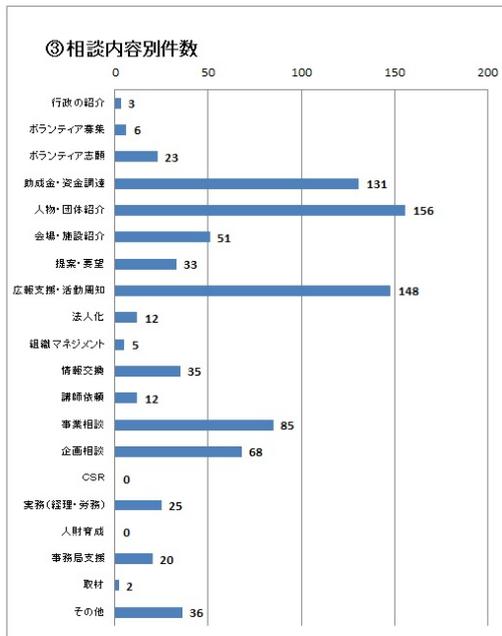
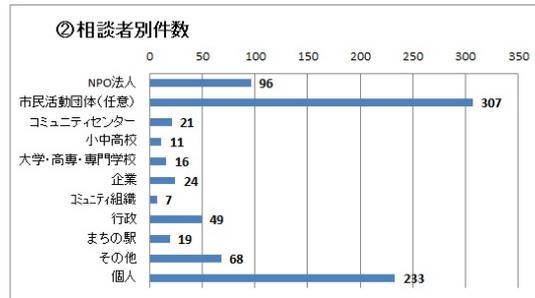
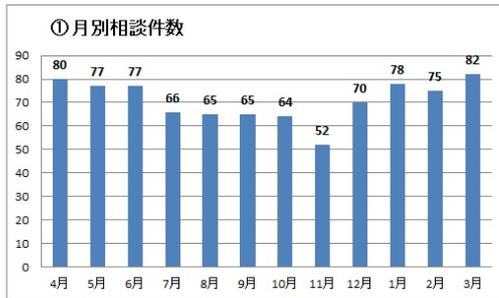
① 相談コーディネート

概要

センターの施設運営および相談業務を実施。各コーディネーターが担当地域を持ち、支所地域（支所、コミセンなど）に足を運び、情報交換やきめ細かな相談対応を行った。また、講座開催・出前相談などで市民活動団体が活動するための知識取得や専門家のサポートを提供した。

実績

【平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)市民協働センター相談対応状況集約】合計851件(昨年816件)



② 講演会の開催

概要	<p>広く市民活動や市民協働、社会貢献活動などへの関心を持ってもらい、活動への一歩を踏み出す機運を高めるための講座を開催する。講演会は年2回、対象をシニア（30名規模）と広く一般に向けたもの（80名規模）に分け実施。関係機関との連携を図り、協働事業となるよう務めた。</p>
実績	<p>○一般向け講座 米国ポートランドに学ぶ“まちのつかい方と活かし方”</p> <p>目的：市民活動を始めようと思う市民を増やすこと（すそ野を広げる）</p> <p>日時：2018年11月10日（土）13：30～16：30 場所：第1協働ルーム～第3協働ルーム</p> <p>講師：株式会社アーキネティクス 代表 吹田良平氏</p> <p>パネリスト：田中洋介氏（与板ゆいプロジェクト）竹内春華氏（公財 山の暮らし再生機構）</p> <p>参加人数：65人（内、講師3名、協働課3名、協働C8名）</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の内容は市民活動、市民協働に隣接する領域の人から、間接的に市民協働などに関するテーマを話してもらったため、視野が広がり参加者のモチベーションも上がる内容であった。 ・時間をかけて準備を行い、広報活動もほぼすべての手段を活用したため、今まであまり協働センター界隈で見かけない方も多く、協働センターの認知度向上にもつながった。 ・第二部の離脱者も少なく、オープントークは意外と参加者がスムーズに入り込めていた。 <p>改善点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間配分に余裕がなく、参加者の不満の声にもつながっていたため、講師との打ち合わせを綿密にし、全体の内容を絞ることも検討すべきであった。 ・講演後に参加者と協働センター、参加者間の関係性をつなげる目的に、簡単な懇親会を設けてもよかった。 <p>第一部：満足度（平均）8.2点／10点満点中 回答者数 38人（回収率74.5%）</p> <p>第二部：満足度（平均）7.2点／10点満点中 回答者数 36人（回収率70.5%）</p>
第一部	 
第二部	 
	<p>○シニア講座</p> <p>50代・60代から考えるはじめの一歩セミナー みんなも私も喜ぶセカンドライフのを見つけ方</p> <p>目的：定年した方や定年が間近の方に、定年後のモヤモヤを解消し、仕事とは違う一歩の踏み出</p>

し方を考えてもらう機会を提供すること。

日時：平成 31 年 3 月 15 日（金） 対象者：まだ現役の 55～65 歳代

参加人数：合同説明会 46 名（内 ブース・茶話会ゲスト 13 名、協働課 3 名、事務局 5 名）

講演会 53 名（内 協働課 2 名、事務局 5 名）

内容：

・ 16：30～18：00 相談会&茶話会『セカンドライフの次なる一歩合同説明会&茶話会』

【合同説明会ブース】

長岡市ボランティアセンター（長岡市社会福祉協議会）、長岡市シルバー人材センター
起業支援センターながおか Clip、まちなかキャンパス長岡、希望が丘コミュニティセンター
長岡市協働課コミュニティ推進係、長岡市協働課生涯学習係、

【茶話会ゲスト】

風間小百合さん（起業者）、青柳忠浩さん（起業者・まちの駅）

江口英夫さん（シルバー人材登録者、市民活動実践者）

小林勝一さん（希望が丘コミセンボランティア）、大崎 勉さん（まちキャンボランティア）

川又 智恵子さん（まちキャンボランティア）

・ 18：30～20：10 講演会『みんなもわたしも喜ぶセカンドライフの見つけ方』

講師：松本すみ子氏（有限会社アリア代表取締役／シニアライフアドバイザー）

・ 20：10～20：30 関連機関紹介（合同説明会ブースの団体と同じ）

成果：合同説明会は初めての試みであったが、ブースとして多様な機関を網羅したことによって、
一方的な講座などよりも、参加者一人一人のニーズに応えることが出来た。

また潜在的なニーズ（本人も気づいていなかったニーズ）を掘り起こすことも出来た。

講演会は世間の変化から、自分を振り返るワーク、東京の事例など幅広い内容であった
ため、参加者も自分のセカンドライフについてイメージしやすい機会となった。

改善点：茶話会ブースは、こちらが意図したトークがされていたか不透明であり、フリートークより
も実践に役立つ情報交換ができるよう工夫すべきであった。次回以降設ける場合はスタ
ッフがもう少しコーディネートを行う。

合同説明会を行う場合は、可能であれば講演会を聞いてから参加できるように設定する。

合同説明会：満足度（平均）6.7 点／10 点満点中 回答者数 16 人（回収率 66%）

講演会：満足度（平均）8.1 点／10 点満点中 回答者数 38 人（回収率 84%）



合同説明会の様子



講演会の様子

③ 組織運営講座の開催

<p>概要</p>	<p>組織運営講座は、専門家が行う「スキルアップ講座」1回と、コーディネーターが行う「基礎講座」を実施。「スキルアップ講座」は、団体のニーズを見極めより高度な知識を学べる場とした。「基礎講座」は4テーマ（「企画づくり」「会計」「集客」「活動PR」）を、年2回（前期6月・後期12月）に実施した。</p>
<p>実績</p>	<p>○組織運営講座（外部講師） 地域をよくする社会をよくする計画づくり講座 ～市民活動が見落としがちなお金の話～</p> <p>目的：NPO 団体・市民団体が団体運営に経営的な視点を持ち、活動の持続的発展を可能とする。 日時：2018年10月11日（木）19：00～21：00 場所：まちなかキャンパス長岡 301 会議室 講師：今井進太郎氏（グローバルマーケティング株式会社 代表取締役） 参加人数：40名 スタッフ11名 計51名</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動には想いと同時に会計意識も必要であること ・事業単位での収入、支出内訳の整理 ・徒に事業拡大せず、損益分岐点をして事業計画を立てなければならないこと ・キャッシュポイントを設ける工夫 ・共感のひろげ方 <p>などについて、「にいがた子育て応援団トキっ子倶楽部」など具体的事例とともにレクチャーして頂き、経営意識、会計意識を得られたといった反応をアンケートを通して多くの受講者から得られたため、市民活動におけるお金の意識を向上させる機会となった。</p> <p>改善点：経営意識・会計意識の底上げを本企画の狙いとしていたため、講座内容は基礎的なものであったが、一部の受講者からはより高度な内容を扱ってほしかったとの反応があり、広報時に企画の意図が十分に伝えられていなかったとみられる。</p> <p>満足度（平均）7.7点/10点満点中 回答者数 35人（回収率87.5%）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○組織運営講座（内部講師）</p> <p>目的：NPO 法人や市民団体などが活動する上で抱えている課題を解決支援するため、資金調達・広報などをテーマにした講座を開催し、活動のステップアップを図る。</p>

○第1回 組織運営講座 ～企画・会計編～

①企画や計画の立て方の基礎

日時：6月6日（水）13:30～15:00

場所：第1協働ルーム

参加人数：12名 スタッフ4名 計16名

講師：高橋秀一（ながおか市民協働センター）

成果：

- ・企画づくりの行程を細分化したことで、考え方や組み立て方を理解してもらえた。
- ・ワークシートで頭を整理することができ、講座だけでなく実際に使って活かしてもらえるものがお土産として持って帰ってもらえた。

満足度（平均）8.1点／10点満点中 回答者数9人（回収率75%）



②会計処理の基礎

日時：6月6日（水）15:15～16:45

場所：第1協働ルーム

参加人数：9名 スタッフ4名 計13名

講師：太田道子（ながおか市民協働センター）

成果：

- ・市民活動の会計の基礎ということで、お金の流れから、管理の方法までを紹介した。予算の立て方から会計報告の仕方の流れを確認し、簡単な仕訳と帳簿の書き方を講座にした。
- ・参加者は会計初心者も多く、科目の分け方や使い方などをもう少し詳しく紹介したほうが良いと感じた。

満足度（平均）8.6点／10点満点中 回答者数6人（回収率66%）



○第2回 組織運営講座 ～情報発信編～

③イベント集客のコツ

日時：6月13日（水）13:30～15:00

場所：第2,3協働ルーム

参加人数：15名 スタッフ7名 計22名

講師：池戸熙邦（ながおか市民協働センター）

成果：

- ・市民活動イベントの集客に有効な、無料（安価）・専門知識不要かつ長岡市域特有の広報手法を豊富に伝え、概ね理解された。
- ・手法の実効性を意識した資料作り及び効果の出やすい広報手法紹介を行ったため、参加者は所属団体が行うイベントの情報流通量を直ちに増加することが可能となった。

満足度（平均）7.6点／10点満点中 回答者数15人（回収率100%）



④共感を呼ぶ活動 PR

日時：6月13日（水）15:15～16:45

場所：第2,3協働ルーム

参加人数：14名 スタッフ8名 計22名

講師：岩渕直子（ながおか市民協働センター）

成果：

- ・活動の背景や目的、具体的な活動内容といった情報を整備して伝えていくことの必要性が伝わった。
- ・活動の目的に応じて、伝えたい人を意識した情報の切り取り方を紹介し、ワークを通して実用性のあるコンテンツを考えた。

満足度（平均）7.3点／10点満点中 回答者数13人（回収率92%）



○第3回 組織運営講座 ～企画・会計編～

⑤企画や計画の立て方の基礎 講師：高橋秀一

日時：平成30年12月5日（水）13:30～15:00

場所：ながおか市民協働センター 協働ルーム

参加人数：22名（ほか協働課2名、協働C5名）

成果：講座の流れが丁寧に伝わり、ポイントも理解を得られた。

改善点：協働センターで蓄えている様々な事例をもっと入れ込んだ方が良かった。

ワーク内容が現場で使えるワークになっていないところがあり、戸惑っている方もいた。

満足度（平均）7.7点 回答者数 20人（回収率91%）



⑥会計処理の基礎 講師：太田道子

日時：平成30年12月5日（水）15:30～16:45

場所：ながおか市民協働センター 協働ルーム

参加人数：20名（ほか協働課2名、協働C4名）

成果：会計入門講座の内容及び資料は充実してきた。二部ということもあり長時間にわたることからアイスブレイクなど切り替えの時間を入れたことで、テンポよくできた。

改善点：会計処理というと、参加者それぞれのレベルの差が出て、レベルを合わせて行うのは難しいと感じる。また、時間の関係でワークができなかったことから、具体的に個人の理解に落とし込むことが出来なかった。資料が多く番号がなかったため、わかりづらかった。

満足度（平均）7.8点 回答者数 19人（回収率95%）



○第4回 組織運営講座 ～情報発信編～

⑦イベント集客のコツ 講師：池戸熙邦

日時：平成30年12月12日（水）13:30～15:00

場所：ながおか市民協働センター 協働ルーム

参加人数：21名（ほか協働課2名、協働C3名）

成果：イベント集客の基本的な考えと、長岡地域でイベント情報の情報流通量を増やす具体的な手法及び訴求力の高いチラシの作成方法を伝えた。アンケートより、多くの受講者が概ね満足したことが分かるため、多くの受講者がイベント集客のコツを少なくとも知識・情報

としては身に着けたものと思われる。

改善点：一部の受講者にとっては実際の講座内容と、期待する受講内容に差があったようだ。広報時に、より具体的な講座内容を伝えることで、ミスマッチを減らしたい。

満足度 (平均) 8 点 回答者数 19 人 (回収率 90%)

⑧ 共感を呼ぶ活動 PR 講師：岩渕直子

日時：平成 30 年 12 月 12 日 (水) 15:15～16:45

場所：ながおか市民協働センター 協働ルーム

参加人数：16 名 (ほか協働課 2 名、協働 C4 名)

成果：イベント集客のための情報と活動を応援してもらうために必要な情報の違いを伝えることができた。活動報告の必要性と報告ツールの特性を解説したことで、目的や状況に合わせて活用意欲を持ってもらうことができた。

改善：講座内容作成時間の確保。講座時間と内容のバランス。内容に合わせたたとえ話の用意。

満足度 (平均) 8.5 点 回答者数 14 人 (回収率 88%)

④ 団体出前相談

概要

組織運営において課題がある団体の救済支援として出前相談を実施した。広く団体が気になることは組織運営の基礎講座で解説し、さらに個別相談が必要な方に出前相談を実施。コーディネーターが複数名同席し、専門家のノウハウを勉強し、相談対応時のスキル向上に努めた。

実績

【H30 年度実施回数】5 回

実施日	団体名	派遣専門家	相談内容
5/8	NPO 法人医療と福祉の里ボランティア連合会	ながおか会計 市村二三代 氏	事業・会計の整理 満足度 3 (5 段階評価中)
1/9	NPO 法人ピュアはーと	たかの社会保険労務士事務所 高野真規 氏	育児休業制度について 満足度 5 (5 段階評価中)
1/21	NPO 法人多世代交流館 になニーナ	たかの社会保険労務士事務所 高野真規 氏	労務相談 満足度 5 (5 段階評価中)
2/28	ひだまりハウス	CS 合同会社 小黒千佳 氏	LINE@活用について 満足度 5 (5 段階評価中)
3/27	山本地域活性化プロジェクト	イナカレッジ 金子知也 氏	プロジェクトのすすめ方 満足度 5 (5 段階評価中)

成果：専門家による具体的な問題解決の指導により、各団体の不安等を解消できた。

⑤ センター施設運営

概要

市民活動団体の事務局補完支援として、ロッカー・レターケース・印刷機・各種備品・協働ルーム貸出しの運営を実施。また、毎月窓口ミーティングを開催し、臨時職員と情報共有しスムーズな運営を図った。

実績

○H30 年度利用回数 ポスターチラシ設置が減ったが、他はほぼ例年と同数を維持。

- ・ポスターチラシ設置 (1,200 枚/前年 1,318 枚)
- ・印刷機 (1,084 回/前年 1,075 回)
- ・協働ルーム (1,596 回/前年 1,600 回)

成果：例年並みの施設利用と適切な窓口業務がなされた。

(2) 情報の受発信業務

①市民協働センター情報誌「らこって」発行（毎月4P/3,000部発行、3月号は8P/4,000部発行）

概要 「広く一般市民向け」に長岡市の市民活動を取り上げて作成をした。内容は市民活動者インタビュー（2名）、市民活動団体紹介（ラジオ連動）、企業の社会貢献活動紹介、市民活動虎の巻のコーナーなどを掲載した。

実績 昨年度から継続して、メイン記事は団体の活動を支える「ヒト」にスポットをあてて取材を行った。
 ≪メイン記事：地域をよくするウワサのあの人にインタビュー≫
 毎月、市民活動に取り組むお二人をご紹介します。活動に関わったきっかけや、どんな役目を果たしているのか伺う中で、活動への多様な関わり方を紹介。



- ・ 発送数：591件（平成30年度3月末日現在）
 - ・ 発送先：市内NPO法人、登録団体、まちの駅、市内公共施設ほか）
- 成果：表紙を飾った方から知人や周囲の方へと「らこって」が広まるきっかけになった。

②FMながおか「つながるラジオ」（毎週月曜/月4回放送/放送時間10分程度）

概要 長岡市で公益的な活動や社会貢献をしている市民活動団体や企業の活動を幅広く紹介する。毎月、

市民活動団体（3団体）及び企業の社会貢献活動（1企業）を紹介。取材した内容は、らこっととコ
 ライトへも掲載する。引き続き、市民が気軽に参加できる投稿コーナーも実施していく。
 ・毎週月曜／月4回放送／放送時間10分程度

実績

○『つながるラジオ』月4団体紹介

放送日	団体名
4/2	新町みんな食堂
4/9	ナカムラコーヒーロースター
4/16	NPO 法人 BAS 長岡
4/23	長岡婦人フォークダンスクラブ アンティーズ
5/7	山古志木籠ふるさと会
5/14	株式会社 山長組
5/21	NPO 法人虹の家
5/28	てらどまり若者会議～波音～
6/4	田麦山スポーツ振興会
6/11	長岡市ハイヤー協会
6/18	NPO 法人長岡ジュニアユースフットボールクラブ
6/25	入東谷活性化プロジェクト
7/2	NPO 法人骨髄バンクアサガオにいがた
7/9	理容ほしの
7/16	よさこいサークルすいれん
7/23	游川の会
8/6	岩塚製菓
8/13	NPO 法人ゴーイングオンサポートシステム
8/20	EU カフェ
8/27	寺子屋キッズ
9/3	学生消防隊
9/10	NPO 法人くらしサポート越後川口×地域おこし協力隊
9/17	石坂郷の未来を考える会
9/24	NPO 法人長岡献血友の会
10/1	マコー株式会社
10/8	三島を楽しむ会（現：ともプラス）
10/15	長岡金春会
10/22	新潟県の整理収納アドバイザーBecome
11/5	NPO 法人山野草をたずねる会・植生研究会
11/12	長岡聾学校×(株)鈴木珈琲×水道タンク
11/19	椿の森倶楽部
11/26	ラ・ルミネ
12/3	株式会社 阿部製作所
12/10	栃尾地域吉水集落
12/17	与板ゆいプロジェクト
12/24	虫亀結いの会

1/7	大地創造職人 反町敏彦
1/14	早春の陣 実行委員会
1/21	スズランド
1/28	ひだまりハウス～精神遅滞及び自閉症児を支える家族会～
2/4	つなサンド特集！～協働歳時記～
2/11	長岡にこっとくらぶ
2/18	Let' s ライフオーガナイズ！
2/25	越路大地の会
3/4	コンドウ印刷 株式会社
3/11	御菓子司 龍昇堂
3/18	花ももの郷栃尾
3/25	ものづくりえんにち
平成 30 年度年間出演団体数 45 団体(うち企業 12 社)	

・市民投稿企画『つながるサンド』
 投稿テーマ『『これも協働!?!』暮らしの中で感じた人とのつながり』
平成 30 年度 年間投稿数 31 件
【投稿例】
 最近、近所付き合いについて考えています。顔を合わせたときにはあいさつしたり、自宅の玄関前を掃除するときには、家の前だけでなく、せめて両隣ぐらいまではきれいに掃除したり。あまりおせっかいが過ぎるのも考えものですが、ちょっとした思いやりを積み重ねることが、ご近所づき合いをスムーズにする秘訣だと思っています。
 成果：市民団体にとってラジオ取材の経験が活動を人に分かりやすく伝えることの大切さを知ることにつながった。企業にとっては、取材の会話から異業種を知る情報交換の場にもなっていた。投稿コーナーは、身の回りの小さな協働に気づくきっかけとなっていた。

③Web サイト「コライト」の運営

概要	市民活動イベントや各種助成金情報、募集情報、登録団体の紹介など長岡市の市民協働推進に寄与する情報を掲載する。らこって発行にあたって作成した情報コンテンツ（インタビュー、団体紹介など）は全てコライトにも転載し、情報をアーカイブする。また、登録団体その他に改めて活用方法の説明を随時行っていく。
実績	○平成 30 年度の月平均ページビュー 前年より約 1,300 ページビュー増えた。 12,099 ページビュー（前年 10,791 ページビュー） 成果：様々なツールで情報を伝えることにより、キャッチする人が多層に広がった。

④ソーシャルメディア管理・運営（Facebook ページ、twitter アカウントの運用）

概要	引き続き Facebook、twitter の運営を継続し、市民協働に関する情報を適時発信する。また、無料で利用できる他サービス（LINE@、Instagram など）について情報収集し、必要に応じて新規アカウント運用を検討する。
実績	○SNS フォロワー数（平成 30 年度増減） ・Facebook フォロワー 2,103 いいね（+31 いいね） ・twitter フォロワー 310（+66） ・Instagram フォロワー 177（+177） … 10 月から Instagram を開始した。 成果：Instagram を始めたことで、普段市民協働センターに来られない若い世代にも情報発信するこ

	とが出来た。
⑤パネル展【新規】	
概要	長岡市の市民活動や市民協働に関する情報や、市民協働センターの役割などについてのパネルを作成し、市内各地域で展示を実施。協働条例、市民活動団体、活動に取り組む個人の想いなどをPRし、活動の裾野を広げられるようにする。またパネル展はただ展示スペースに一定期間展示するだけでなく、市内各地域の関係機関・団体と連携を図り、集客力のある地域イベントで展示ブースを出店するなど、より多くの人々の目にとまるような方法を検討して実施する。また要望に応じて、臨時相談窓口の開設や補助金説明会の開催等を検討する。
実績	<p>完成した各種パネルを支所地域に持参し、一定期間展示をするパネル展を実施。また出張相談窓口も設置した。(今年度4地域を実施予定)</p> <p>○第1回和島地域…7月18日(水)～31日(火)支所内に期間内常設展示</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所や体育館を利用している人が足を止め、見ている人が多く見受けられた。中にはらこつてを持って帰られる方もいた。 ・団体登録や補助金の相談もあり、協働センターの機能を知ってもらう機会にもなった。 ・相談件数…3件 ・登録団体…4団体増加(前：2団体→後：6団体) <p>改善点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所や体育館を利用する方は限られるので、もっと広く市民にPRする方法の検討。 ・支所との連携を強化し、登録団体および相談が増えるよう更なる認知度向上。 <p>○第2回アオーレ長岡…10月11日(金)～10月16日(火)協働センター内</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国都市問題会議のテーマが「協働」だったため、全国から訪れた方々も多く見ていただけ、協働のまちづくりをPRすることができた。 ・パネルを写真に収めていく方も多く見受けられた。 <p>○第3回和島地域…10月20日(土)～21日(日)生涯学習フェスティバル IN ワシマの行政ブースに展示。21日に出張相談窓口設置。</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足を止めて見てくれている方や、らこつてを持って帰られる方もいらっしゃった。 ・講座申込について相談に来られた方もいた。 相談件数…1件 <p>改善点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり開けた場所ではなかったため、見に来る人は限られていた印象をうけた。 ・芸能発表を見に来る方にも見てもらえる場所など、不特定多数の目につく展示を心掛ける <p>○第4回栃尾地域…11月5日(月)～12日(月)までおりなすと道の駅 R290 とちおにて展示。</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示に際し、とちおコミュニティセンターから協力いただき、展示告知や登録団体募集について地域団体へ郵送いただいた。また、会場との連携やかりやだ交流会内での展示告知などをしていただき、お力添えをいただいた。この機会に関係を深めることができたと感じている。 ・相談件数…1件 ・登録団体…1団体増加

改善点：

- ・地域活動実践者が集まる交流会と同時開催できたことで、活動に取り組んでいる人の目には付く機会となったが、活動に関わりのない人にもPRする方法の検討。
- ・地域内の登録団体数を増やしたい。

○第5回山古志地域…11月14日（水）～12月3日（月）までおらたるにて展示。また、12/3に出張相談窓口も開設。

成果：

- ・会議等でおらたるを利用している人が帰りに見ていく様子があった。
- ・観光でおらたるを訪れた方も足を止め見て頂けており、山古志の地域活動や団体を紹介するには良い機会であり、「震災後、いろいろ住民で頑張っていてすごいね」とお褒めの言葉をいただいた。

改善点：

- ・今回相談件数が0件だった背景には、山古志地域は支所が地域団体や住民の「何かしたい気持ち」や困りごとに対するサポートが充実していることが考えられる。そのため、今後も支援組織との連携や情報交換を密にしていくことが重要である。

○第6回寺泊地域…平成31年3月11日（月）～25日（月）寺泊コミュニティセンター

成果：

- ・展示期間中に開催されたコミセン地域交流会に集まった来場者約90名から展示を見てもらうことができた。
- ・コミュニティセンター主事と情報交換を行うことができた。
- ・相談件数…1件 ・登録団体…1団体増加

改善点：

- ・もっと広く市民にPRする方法の検討。
- ・更なる連携を強化し、登録団体および相談が増えるよう更なる認知度向上。



和島地域 生涯学習フェスティバル IN ワシマにて



栃尾地域 おりなすにて

⑥団体の情報発信支援

概要

市民活動団体にとって利用しやすい方法で、イベント情報や各種募集情報など市民活動団体の広報PRを支援する。

実績

支援方法・協働センターでチラシ設置、ポスター掲示 ・コライトへ掲載 ・Facebook、twitterで随時情報拡散

	<p>※センター運営事業以外の支援は、NPO 法人市民協働ネットワーク長岡の独自事業で実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンで情報配信 ・市民活動情報紙（かわら版）に掲載 ・メディアへの情報提供 <p>成果：今年度の広報に関する相談案件が増えた。</p>
(3) 協働促進業務	
①団体の活動状況の把握	
概要	<p>団体活動状況の把握について、継続実施した。平成 30 年度は団体同士のマッチングが自発的に起こるように、登録団体間で情報共有する仕組み「協働マッチングリスト」を作成し、市民団体や関係各所に配布をした。また、補助金申請団体、フェスタ参加団体、NPO 法人、まちの駅など、これまでに関わった団体の情報整理を行い、活動状況の把握と団体 PR を行った。</p>
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・協働マッチングリストの作成。団体の「できます・求めています」が見える化し登録団体及び関係機関に配布（7月下旬に実施） ・市民活動フェスタにて登録団体の紹介パネル展を実施 <p>登録者アンケートを実施したものを、「団体登録」「コライト」「マッチングリスト」に反映させた。</p> <p>○平成 30 年度実績（平成 30 年度増減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体数（306 団体/前年比 81 団体増） ・コライト掲載数（251 件/前年比 57 件増） ・マッチングリスト数（95 団体/前年比 52 団体増） <p>成果：団体や学校からマッチングリストを見ての相談があり、団体をつなげることが出来た。</p>
②関係各機関との連携	
概要	<p>関係各機関と随時情報交換をするとともに、センターの事業実施を通じて関係性を深めた。</p> <p>平成 30 年度は、これから増加するシニア層を地域活動などに呼び込むシニア講座にて、ボランティアセンター、シルバー人材センター、起業支援センターなどと協働しての企画運営を行った。企業関係者との関係構築と情報収集については、引き続きらこっての取材等を通じて地道につながりを増やした。登録団体と同様に「他の団体に協力できること」を集め協働マッチングリストへ反映させた。</p>
実績	<p>○長岡商工会議所が 7/9 に実施した交流会に参加し、企業との名刺交換や顔合わせをした。また、ブース出展をして PR も実施し、会員を増やした。</p> <p>○10/11 開催 地域をよくする社会をよくする計画づくり講座～市民活動が見落としがちなお金の話～ をソーシャルビジネス支援ネットワークと協力して実施。</p> <p>※市民協働センター運営事業③組織運営講座の開催参照</p> <p>○12/17 ソーシャルビジネス支援ネットワークの講座を開催</p> <p>講座名： 団体の持続性を高める！経営戦略セミナー</p> <p>第 1 部 ソーシャルビジネス戦略 6 つのステップ</p> <p>第 2 部 ソーシャルビジネスのための施策説明</p> <p>第 3 部 個別相談会</p> <p>日時：2018 年 12 月 17 日（月）14：00～16：00</p> <p>場所：第 1 協働ルーム～第 3 協働ルーム</p> <p>講師：山元圭太氏（NPO 法人日本ファンドレイジング協会 理事、合同会社 喜代七）</p> <p>参加人数：50 名</p> <p>成果：ソーシャルビジネス支援ネットワークと協力した事で、今まで協働センターを知らなかった方や事業者の方も多く参加され、新たに協働センターを知ってもらうきっかけとなった。</p>

また、相談対応では、3件協働センタースタッフで対応して、その中でNPO 立上げ相談が1件あり継続して相談を受け付けていく

改善点：ソーシャルビジネス支援ネットワークとして、今後社会のニーズと各団体の役割についてや、今後の事業計画など始まったばかりなので、まだ模索点が多い



3/15 シニア講座「みんなもわたしも喜ぶセカンドライフのを見つけ方」内の合同説明にて、ボランティアセンター、シルバー人材センター、起業支援センターと協力し実施。

※市民協働センター運営事業②講演会の開催参照

③むすび隊ネットワークの活用	
概要	むすび隊の位置づけを、協働センターのサポーター的な動きのできる個人・団体として対象範囲を広げ「各地域の頼れる人」といった位置づけとする。協働センターに相談があった時に活動している人たちを支援できるような専門知識やスキルを持った人、団体を見える化し、地域ネットワークを業務で活用していく。センター内部で活用するリストを作成し、ゆるやかなつながりの中で、ネットワークを再編・拡大していく。相談者をつないだり、地域の活動団体や取材対象を紹介していただいたりなど、センター事業のサポートを適時依頼する。顔を合わせる
実績	相談業務で活用していけるよう、想定される能力のカテゴリ分類を作成した。今後は個人・団体を上げ、リスト化を進めていく。

(4) その他	
①市民活動フェスタ(事務局)	
概要	様々な活動をしている市民団体がアオーレ長岡に一堂に会し、ブース出展やステージ発表など日ごろの活動を市民にPRし、出会いと交流を促進させる。 事務局として、実行委員会のサポートや前日準備から当日の運営までを市民協働課と行った。
実績	○ながおか市民活動フェスタ 【日時】9月8日(土) 10:00~15:00 【場所】アオーレ長岡 【参加団体数】61団体(H29:65団体) 【来場者数】6,000人(H29:5,000人) 昨年同様、市民活動団体によるステージ発表や、活動PRブース、飲食ブースなどを実施。 今年の新たな取り組み ・100人に活動を知らせようプロジェクトとして、当日来場者に向けて積極的にチラシをまく取り組みを実施した。 ・フェスタキッズプログラムとして、参加表明をした9団体が企画段階から話し合いを重ね、協

力し合い、小学生を対象に市民活動を体験してもらう取り組みを実施した。



9/8 ながおか市民活動フェスタ（当日の様子）

○実行委員会等の会議について

- ・4月26日（木） 第1回市民活動フェスタ実行委員会
- ・5月24日（木） 第1回市民活動フェスタ全体会議
- ・6月5日（火） ステージ発表者会議
- ・6月14日（木） 子供向け企画会議
- ・6月28日（木） 第2回市民活動フェスタ実行委員会
- ・7月24日（火） 参加団体全体会議
- ・8月23日（木） 第3回実行委員会
- ・9月12日（水） 第4回実行委員会、おつかれ会
- ・3月27日（水） 第5回実行委員会



・市民活動フェスタ'18 写真展の開催（11/1～11/15）@協働センター壁面

成果：会議などを重ね、顔を合わせる機会が増すことで、互いの活動を理解し協力し合う体制が出来、フェスタ成功への力となった。

②越後長岡まちの駅ネットワーク(事務局)

概要 越後長岡まちの駅ネットワーク（市内各地域に点在している59駅）事務局のサポートや、各事業遂行のサポートを行った。

実績 ○7月23日～9月9日 まちの駅シールラリーの旅を実施した。59駅中43駅が参加。

【応募者数】71人 【参加者数】1,858人(延べ人数)

○8月2日 まちの駅ネットワークかぬま（栃木県）との交流事業
越路エリアを日中に見学し、夜は花火会場近くのホテルで交流会を実施した。



○9月20日 オールにいがたまちの駅交流会をまちの駅ネットワーク見附と協力し、道の駅パティオ新潟にて開催。見附市内のまち巡りを行った後に交流を行った。

【参加者数】48人

○10/26（金）・まちの駅巡りツアー

案内人研修として、和島・与板地域を巡った。

【参加人数】12名 事務局4名 計15名

・まちの駅交流会

長岡駅周辺で今年度の振り返りと交流会を実施。

【参加人数】6名 事務局6名 計12名



○11/9（金）－10（土） まちの駅全国大会 in 会津

参加者：原田代表、山田駅長（和島もてなし家） 事務局：半間、高橋（11/9のみ）

※長岡大学鯉江ゼミから4名が参加

○まちの駅ラジオ番組「長大生と行く！まちの駅ヒアリングGO！」

目的：①市民へのまちの駅の認知度向上

②駅長への取材を通して「まちの駅」としての個性や魅力を再確認してもらう

③まちの駅関係者同士の連携強化

実施駅：長岡大学（旧長岡）、あまやち会館（山古志）、和紙の駅（小国）、酒蔵のある駅（越路）、リンクさぼーとまちの駅（中之島）、まちの駅 寺泊（寺泊）、日本茶の駅（栃尾）、まちの駅あぐりの里（寺泊）、まちの駅喜芳（三島）、まちの駅もてなし家（和島）、まちの駅よいた（与板）

成果：普段連携の難しい駅同士の活動に寄り添うことで、事業がスムーズに運営でき、結果が出せた。



③長岡市市民活動補助金のサポート

概要

申請書作成に関する相談・申請受付・審査会での情報提供などを行う。

・補助金申請窓口

・補助金対象事業の相談・申請書類作成相談・申請受付を実施。

審査会での情報提供（団体情報、申請事業内容の補足など）を行った。

実績

○補助金申請窓口として、事前相談や申請受付を実施。

○毎月事務局レビューと審査会を実施。

【平成30年度実績】

交付決定 47 事業 9,579 千円（※金額は3/31時点）（H29実績 56 事業 12,575 千円）

成果：申請書提出までの相談が密に行われることにより審査会での補足説明に厚みが増し、採択決定に大いに役立った。申請団体との関係性も強まり、新たな相談へとつながった。

2. 情報発信事業（自主事業）

①メールマガジン

概要	定期的にメールマガジン登録をする個人・団体へ、直接的かつ集約的に市民活動に関する情報を配信する。協働センターwebサイト「コライト」の更新情報を中心に、そのほか当法人に関する情報（イベント告知、入会PR等）などを毎月2回（第1・3日曜日）配信した。
実績	毎月第1、第3日曜日に《きょうからキョウドウ通信》メルマガの定期配信を実施。 ○メルマガ配信数 平成30年度内で49件の増加。 配信数（平成30年度末…524件/平成30年度当初475件） 成果：市民活動に関する情報を手軽に入手でき喜ばれた。

②市民活動情報紙

概要	当法人ならびに協働センターとしてwebやメールを介する市民活動の情報発信には取り組んでいるものの、それらの手段で情報受信のできない市民が一定数いた。その層に対して市民活動に関する情報を、紙媒体を用いて発信することで、広範な対象に向けての市民活動活発化に寄与する。市民活動情報紙を発行するとともに、それを活用することで協働センターの情報発信を補った。
実績	毎月市民団体が行うイベント情報をまとめて「ながおか市民活動かわらばん」を作成し、公共施設に「らこって」と一緒に発送した。 成果：窓口での問い合わせや相談の際に直接手渡して説明が出来、喜ばれている。

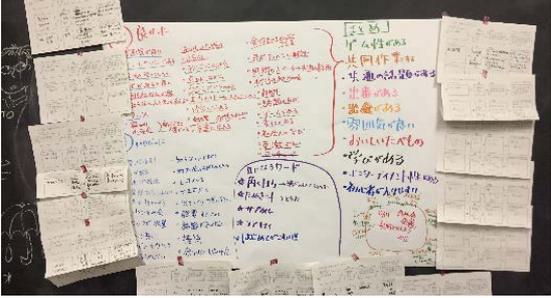
③SNS・ホームページ運用

概要	協働センターが行う情報発信とは異なるアプローチの情報発信を、当法人のSNS・ホームページを用いて行うことで、協働センターの情報発信を補い多種多様な市民活動情報を市民に届ける。それらの運用を通して団体会員の増加、及び当法人の財政状況の盤石化を図った。
実績	○SNSフォロワー数（平成30年度増減） Facebook、twitterともに増加。 ・Facebookフォロワー 570 いいね（+140 いいね） ・twitterフォロワー 1,728（+34） 成果：講座やのもーれなどの参加者を増やすツールとして大いに役立った。

3. 人材ネットワーク事業（自主事業）

①のもーれ長岡

概要	毎回テーマを決めて、学び、語り、飲み、つながる異業種異分野多世代交流の出来る交流会を隔月第4金曜日に実施し、仲間づくりの場を創出した。
実績	市民活動のきっかけづくりとして、活動を周知し、活動に関わる人の裾野を広げる場づくりを行った。具体的には、毎回テーマを決めて、学び、語り、飲み、つながる異業種異分野多世代交流の出来る交流会「のもーれ長岡」を隔月第4金曜日に実施。

開催日時	テーマ・内容	店主	人数
5/25 (金) 19:00 ~	<p>「まちづくりクエストのもーれ！」</p>  <p>何か始めてみたい、役に立ちたいという想いを具体的な一歩につなげるべく、自分の得意なことと人から協力してもらいたいことをマッチングするも〜れを実施。実働部隊として汗を流すのが得意な戦士タイプや、クリエイティブなスキルを活かして活動をサポートする魔法使いタイプ、とにかく楽しく盛り上げる遊び人タイプなど、RPGゲームのキャラクターに例えながらつながりづくりを行った。</p> <p>【収支】 収入 74,600 円 支出 39,063 円 繰越金 : 35,537 円</p>	<p>【店主】 ・(公社) 中越防災安全推進機構 阿部 巧 さん</p>	<p>49 名 (スタッフ フ・店主 含め)</p>
6/19 (火) 19:00 ~	<p>長岡を変えるようなつながりが生まれる！？ 斬新な飲み会の企画を一緒に考えよう！</p>  <p>のも〜れの案出しを兼ねた、飲み会の企画会議を開催。10名の参加者と共に、ワークショップを実施し、多くの企画案が上げられた。共通体験やゲーム性のある企画、参加しやすい工夫といったアイディアが多く上がった。</p> <p>【収支】 収入 0 円 支出 2,423 円 (軽食費)</p>	<p>【スタッフ】 太田道子 伊佐恵理 岩渕直子</p>	<p>13 名 (スタッフ フ・店主 含め)</p>
7/27 (金) 19:00 ~	<p>「長岡まつり直前！ 常在洗浄！ゴミ拾いのもーれ！」</p> 	<p>【店主】 ・ picking up mind 大森 政尚 さん</p>	<p>36 名 (スタッフ フ・店主 含め)</p>

	<p>長岡まつり直前ということで、長岡の玄関口である駅前周辺のクリーン活動を参加者と共に実施。店主には長岡市内で毎月1日に早朝ゴミ拾いを行う PICKING UP MIND の大森さんを迎え、活動をご紹介いただいた。</p> <p>【収支】収入 54,600 円 支出 41,256 円 繰越金：13,344 円</p>		
<p>9/28 (金) 19:00 ～</p>	<p>「開府 400 年のも～れ！ ふるさとの歴史のおもしろがりがた」</p>  <p>長岡の郷土の歴史を楽しむ恩田富太さんを店主に迎え、歴史魅力、楽しみ方をお話しいただいた。歴史好きな参加者を中心に好きな先人トークなど熱い交流が繰り広げられた。</p> <p>【収支】収入 59,800 円 支出 37,292 円 繰越金：22,508 円</p>	<p>【店主】 ・越後 RYO-MA 倶楽部 恩田 富太 さん</p>	<p>40 名 (スタッフ フ・店主 含め)</p>
<p>11/30 (金) 19:00 ～</p>	<p>長岡一！夢が集まる交流会 「夢の種のもーれ！」</p>  <p>夢の種プロジェクトの表彰式を実施。さらに封筒作戦を実施し、会場の参加者からも、夢の種プロジェクトと受賞団体にコメントや資金のエールが贈られた。誰かの「やってみたい！」という気持ちを応援できる機会となった。</p> <p>【収支】収入 58,000 円 支出 37,442 円 繰越金：20,558 円</p>	<p>【店主】 ・スズランド 大村 萌音さん ・ひだまりハウス 小西 美樹さん ・Let's ライフオーガ ナイズ！ 大滝 愛弓さん ・長岡にこっとくらぶ 榎園 早苗さん</p>	<p>44 名 (スタッフ フ・店主 含め)</p>

<p>1/25 (金) 19:00 ～</p>	<p>うれしい たのしい 美味しい 「新年会のもーれ！」</p>  <p>市内で活動する4団体が一夜限りの美味しいブースをオープン。会場の雰囲気盛り上げ、参加者に楽しいひと時を提供した。また、新年会の恒例イベント「みんなで引こうお年玉くじ引き大会」も実施。25件の方々から50個以上の景品協賛をいただき、人のつながりや協力によって幸先のいい新年会となった。</p> <p>【収支】 収入 174,000 円 支出 130,440 円 繰越金：43,560 円</p>	<p>【店主】 酒をこよなく愛する店主の日本酒屋台 /まちの駅 酒蔵のある里 平田誠さん</p> <p>丁寧に作られたおこわおにぎりブース /NPO 法人希望の会福祉会 希望の家 菊入恵さん、山田彩未さん</p> <p>食材にこだわったデザートコーナー /長岡農×食プロデュース NPO 法人思いのほか鈴木将さん</p> <p>野菜をお茶で楽しむ新感覚ティースタンド /有限会社カクタ田中清助商店 田中洋介さん</p>	<p>72名 (スタッフ・店主 含め)</p>
<p>3/22 (金) 19:00 ～</p>	<p>のもーれ特別編 「SDGs」入門！！世界と自分のつながりを体感するカードゲーム大会</p>  <p>2015年に国連で採択された2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール「SDGs」の理解を深めようと、認定NPO法人新潟NPO協会の石本貴之さんをゲストに迎え、カードゲーム「2030SDGs」を実施。ゲームを通して、社会課題と自分のつながりを感じ、参加者同士でも感想や意見を交わす時間となった。</p> <p>【収支】 収入 69,400 円 支出 63,167 円 繰越金：6,233 円</p>	<p>【店主】 特定非営利活動法人新潟NPO協会 石本 貴之さん</p>	<p>43名 (スタッフ・店主 含め)</p>
<p><年間合計> 参加総数 284名、収入：490,400円、支出：351,083円、繰越：139,317円</p>			
<p>②協働マッチングリストの運用</p>			
<p>概要</p>	<p>6年間のながおか市民協働センター運営を通して集めた長岡の人材資源と情報を見える化し、団体間でも活用していけるように作成した協働マッチングリストを活用し、より活発な市民活動の発展につなげる。</p>		
<p>実績</p>	<p>協働マッチングリストをまとめ、配布を行うに留まった。 次年度は、理事や法人会員などへの配布を行い、活用についてのアイデアを募っていく。</p>		

4. ファンドレイジング事業（自主事業）															
① 会員獲得															
概要	<p>当 NPO の活動に理解・共感を持った団体・市民を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宣伝チラシの作成および発信を行った ・ イベント等での加入呼びかけを実施 ・ 会員獲得に向けた仕組みづくりの検討 														
実績	<p>6 月にパンフレット完成。のも〜れ、組織運営講座で配布。協働センター内にも設置済み。今後も随時配布および会員獲得ツールとして使用していく。1 月末に東京新潟県人会の新年会にて法人パンフレットを配布した。</p>														
② 夢の種プロジェクトの運用企画															
概要	<p>長岡市をさらに住みよく活力ある地域にするため、市民から楽しいアイデアやチャレンジを大募集し、柔軟で斬新なアイデアを実現していくコンテストを開催する。</p> <p>長岡市に在住、在学、在勤する個人又は団体対象で、長岡市の地域活性化に向けた実現可能なアイデアに活動支援金を贈呈した。</p>														
実績	<p>○チャリティーコーヒー売上（H30.4～H31.3 月末日）</p> <p>【収入の部】 560,460 円 ①</p> <table border="0"> <tr> <td>前期繰越額</td> <td>266,193 円</td> </tr> <tr> <td>売 上 額</td> <td>258,765 円</td> </tr> <tr> <td>協働ネットからの寄付</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>夢の種のも〜れでの寄付</td> <td>5,500 円</td> </tr> <tr> <td>利息</td> <td>2 円</td> </tr> </table> <p>【支出の部】 314,459 円 ②</p> <table border="0"> <tr> <td>材 料 費</td> <td>84,459 円（豆、消耗品費）</td> </tr> <tr> <td>夢の種賞金</td> <td>230,000 円（受賞団体 4 団体）</td> </tr> </table> <p>【次期繰越額】 ①－② 246,001 円</p> <p>○夢の種プロジェクト 2018 実施結果</p> <p>申込数：たね部門 14 件、わかば部門 5 件 受賞団体：たね部門 3 団体 スズランド（4 万円）、ひだまりハウス（5 万円） Let's ライフオーガナイズ！（4 万円） わかば部門 1 団体 長岡にこっとくらぶ（10 万円）</p> <p>表彰式：11 月 30 日（金）夢の種のも〜れ内にて実施。 会場内からエールや支援金を集める封筒作戦を実施したことにより、各団体へのさらなる支援金が生まれ、次年度の夢の種プロジェクトへの支援金（5,500 円）も得ることができた。</p>	前期繰越額	266,193 円	売 上 額	258,765 円	協働ネットからの寄付	30,000 円	夢の種のも〜れでの寄付	5,500 円	利息	2 円	材 料 費	84,459 円（豆、消耗品費）	夢の種賞金	230,000 円（受賞団体 4 団体）
前期繰越額	266,193 円														
売 上 額	258,765 円														
協働ネットからの寄付	30,000 円														
夢の種のも〜れでの寄付	5,500 円														
利息	2 円														
材 料 費	84,459 円（豆、消耗品費）														
夢の種賞金	230,000 円（受賞団体 4 団体）														
③ 寄付等情報収集及び制度の勉強															
概要	<p>遺贈寄付等の情報収集を行い、資金調達の効果的な方法や基金・財団についての勉強を行った。</p>														
実績	<p>○新潟市での「遺贈」講習会に参加し、主催の「NPO 法人新潟県市民生活支援協議会」の廣川代表、真島事務局長と意見交換</p> <p>○市村税理士と今後の長岡で展開すべき寄付、遺贈、コミュニティ財団などの意見交換をし、それぞれで、関係機関、部署へのヒアリングを行うこととした。</p> <p>○新潟 NPO 協会主催「ファンドレイジングゼミ」参加（10/31）</p> <p>○スマートサプライについて、中越防災安全推進機構の河内さんからお話を伺った。 次年度以降、スマートサプライ導入および活用に向け検討を行う。</p>														

5. コーディネート事業（自主事業）

概要	他団体からの相談や依頼のもと、プロジェクトチームを組み事業協力や派遣など随時実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師、ファシリテーターの派遣 ・ワークショップや講座の企画・運営など ・市民活動フェスタへの出店
①各種団体との事業協力・協働事業	
概要	NPO 法人市民協働ネットワーク長岡の持つスキルが各種団体の支援となることで、市民活動や協働を広げる。依頼や相談があれば、随時事務局内で検討・実施をする。理事の協力を仰ぐ内容については、個別に相談をして検討・実施をする。
実績	以下のように依頼があり、随時計画・実施をした。

期間	事業名	依頼者	役職	派遣者	備考
通年	地域振興戦略部	地域コミュニティ事業補助金審査会	審査委員	渡辺（美）	継続
通年	ながおか若者しごと機構	理事会	代表理事	羽賀	継続
〃	ながおか若者しごと機構	〃	副代表理事	渡辺（美）	継続
〃	長岡市社会福祉協議会	ボランティア大学基礎講座講師	講師	高橋	継続
H30. 7～ H32. 6	子ども家庭課	子ども・子育て会議	委員	渡辺（美）	新規
通年	市民協働課	長岡市民活動フェスタ	委員長	西脇	継続
通年	政策企画課	長岡開府 400 年記念事業実行委員会	部会長 委員	羽賀 渡辺（美）	継続
通年	長岡大学	「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」推進協議会	委員	渡辺（美）	継続
H30. 4～ H32. 3	長岡市教育委員会	熱中！感動！夢づくり教育推進会議	委員	渡辺（美）	継続
H30. 5～ H31. 9	長岡市教育委員会	長岡市教育委員会事務評価委員会	委員	渡辺（美）	新規
H30. 6/7 H30. 6/14	JA 越後ながおか ポリシーブック作成ワークショップ	JA 越後ながおか 青年部	ファシリテーター	高橋、伊佐	新規
H30. 7. 16	青少年育成課	高校生ボランティア講座	講師	太田	継続
H30. 5. 30	関東EPO	関東EPOパートナーズミーティング	-	太田	継続

H30. 6～12	長岡市立上通小学校	はなはすれんこんプロジェクト	講師・コーディネーター	太田	継続
H30. 8. 9	健康課	コミュニティ健康づくり関係者研修会	講師	唐澤	新規
H30. 8. 31 H30. 10. 24	&mama つなぎ	ママファシリテーター講座	講師	太田	新規
H30. 9. 27	㈱エコロジーサイエンス	ファシリテーション研修	講師	高橋	新規
H30. 10. 27	長岡大学	ボランティアフォーラム	コメンテーター	高橋	継続
H30. 11. 3	連合中越	ワークライフフォーラム	講師・分科会依頼	渡辺・太田	新規
H31. 2. 27	連合中越	若手 SJ セミナー	講師	渡辺・太田	新規
通年年 2 回	福祉総務課	ボランティアセンター推進会議	委員	太田	新規

②きょうどう通信の執筆管理

概要	協働を更に推進するため「きょうどう通信」を利用して、身近な協働の発信とコーディネートを行う。市民協働ネットワーク理事より年間 1 記事執筆してもらった。執筆記事は協働ネットワークのメールマガジン及び Facebook にて情報発信し身近な協働を促す。コーディネート事業が進むよう情報発信を強化した。
実績	法人 Facebook 及びメルマガにて発信。寄稿いただいた原稿を随時発信中。 ○平成 30 年度きょうどう通信配信数 年間 19 記事を更新

③ソーシャルビジネスネットワーク連携

概要	日本政策金融公庫長岡支店の呼びかけにより、長岡市内におけるソーシャルビジネスの発掘と育成（事業化）を通じて地域力の向上と社会的課題の解決に寄与することを目的とし、長岡市（市民協働課）、若者しごと機構、長岡大学、大光銀行、長岡信用金庫とともに協働センター及び NPO 法人市民協働ネットワーク長岡としてネットワークに参加した。
実績	○ながおかソーシャルビジネス支援ネットワーク設立キックオフミーティングを 9/14 開催 渡辺副代表理事、事務局 太田が出席 ○ながおかソーシャルビジネス支援ネットワーク主催講座「ソーシャルビジネス戦略 6 つのステップ」12/17 開催 ※報告は (3) 協働促進業務にて